

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 **新**地芝居担い手育成用具整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111 (内 3579)

E-mail: c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,035 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,035	0	0	0	0	0	0	0	3,035
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和6年度に開催予定である「国民文化財、障害者芸術・文化祭」に向けて、各保存振興協議会を通して人づくりを核とする支援を集中的に実施。

その一環として、伝統芸能の公演には多くの道具を使用するが、経年劣化及び使用により消耗は避けられない。現在、各保存会等により維持管理を実施しているが費用面を含め負担が多く、使用限界を超えているものも少なくない。

県指定文化財については現行の「岐阜県文化財補助事業」による補助が可能であるが、各種公演で使用されている用具の多くは指定文化財ではなく、補助の仕組みをつくる必要がある。

### (2) 事業内容

○地芝居担い手育成用具整備事業費補助金

・衣装、人形、獅子、道具等の修理・新調

### (3) 県負担・補助率の考え方

県単費

### (4) 類似事業の有無

・「岐阜県文化財保存事業」(指定文化財のみ対象)

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,035	
合計	3,035	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 事業主体及びその妥当性

- ・岐阜県文化財保存活用大綱（令和3年3月策定） ※文案の段階

##### 第1章 本県の文化財の保存・活用の現状

##### 5 本県の文化財を取り巻く状況

##### (3) 活用上の課題

文化財の価値を広く県民に周知するための県・市町村による活用が推進されてきたが、まだ十分なものとはいえない。

その原因としては、未指定文化財を含めた実態把握や調査・研究が不十分であり、文化財の価値が発信されていないことや、文化財保護部局がそれ以外の庁内部署等と連携した取組が少ないことがある。

これらの課題を解消し、地域の中高年・青年、児童・生徒などの子ども達のそれぞれに合わせた周知等を行い、より効果的な文化財の価値の発信を検討していく必要がある。

##### 第2章 文化財の保存・活用に関する方針と措置

##### 1 本県が目指す文化財の保存・活用の姿（方針）

##### (1) 文化財を“知る”ために

##### ③ 県民への文化財情報の発信

- ・子ども、青年、高齢者等の各年代に合わせた周知の充実。
- ・文化財を主体とした各種イベント等の充実。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> <b>新規要求事業</b>
<input type="checkbox"/> <b>継続要求事業</b>

補助事業名	地芝居担い手用具整備事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県
補助事業の概要	「国民文化祭、障害者芸術・文化祭」（令和6年度）に向けて、伝統芸能公演を活性化させるため、衣装、人形、獅子、道具等の修理・新調等用具整備に対して補助を行う
補助率・補助単価等	<u>定額</u> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）
補助効果	令和6年度開催の国民文化祭に向けて、地芝居の用具を整備し、公演を活性化させる。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）令和6年度開催の国民文化祭までとする。

**（事業目標）**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 令和6年度の国民文化祭までにニーズのある団体に向けて用具を整備</li> </ul>
--

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
補助保存団体数		9	45

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 3,035千円
指標①目標	千円	千円	千円	千円	45団体
指標①実績	千円	千円	千円	(推計値) 千円	(推計値) 9団体
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) 20%

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項   用具整備の支援が各保存団体にどれだけ措置されるのか見極めていく課題がある。</li></ul>
--

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い    △：必要性が低い	
(評価) ○	「国民文化祭、障害者芸術・文化祭」（令和6年度）に向けて、伝統芸能公演を活性化させるため、県未指定の衣装、人形、獅子、道具等を対象に修理・新調等用具整備をおこなうため補助金支給の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている    △：向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

--